

報道関係各位

2020年8月12日
株式会社クロス・マーケティング

学校再開、良かったこと1位は「生徒の生活リズムが整うこと」 オンライン教育には低学年ほど抵抗感あり

－新型コロナ禍の教育に関する調査－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「新型コロナ禍の教育に関する調査」を実施しました。現在、ほぼすべての小中学校、高等学校で学校が再開となり、各学校で新型コロナウイルスへの対策が行われています。今回は、小中高の学校が再開されて大変だと思うこと・再開されて良かったと思うこと、今後のオンライン教育への意識について分析しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20200812education/>

■調査結果

✓小中高の学校の再開により大変だと思うことは、約半数が「学習の遅れを取り戻すこと」と回答。「感染者・濃厚接触者となった生徒のケア」がそれに続く。

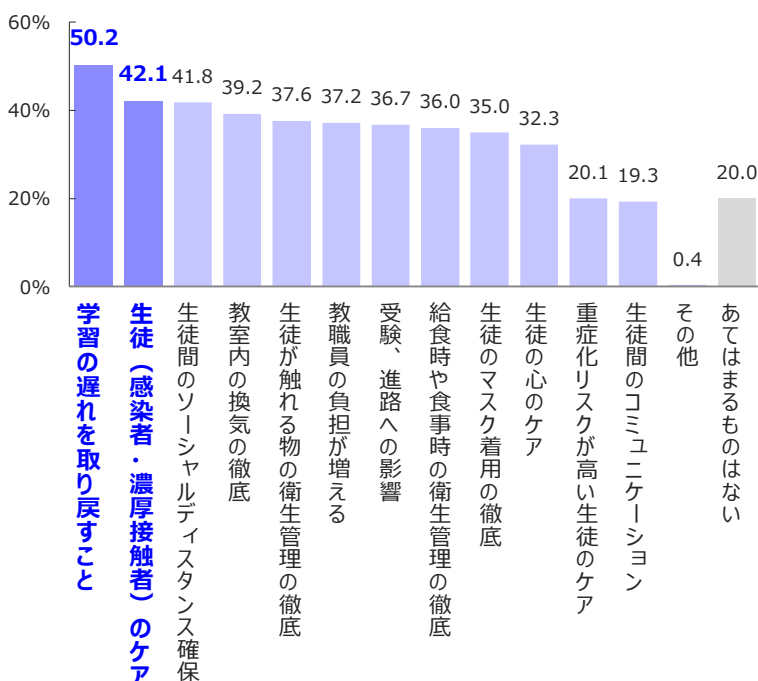
「ソーシャルディスタンスの確保」や「換気の徹底」等の衛生面に関する項目は4割程度。「感染予防対策」よりも「学習の遅れを取り戻すことによる負担」の方がより大きな問題として捉えられている様子が窺える。〈図1〉

一方で小中高の学校が再開されて良かったと思うことは、「生徒の生活リズムが整う」が半数弱と最も高く、「生徒同士のコミュニケーションが取れる」がそれに続く。学習面以外での学校の役割の重要性が感じられる結果となった。〈図2〉

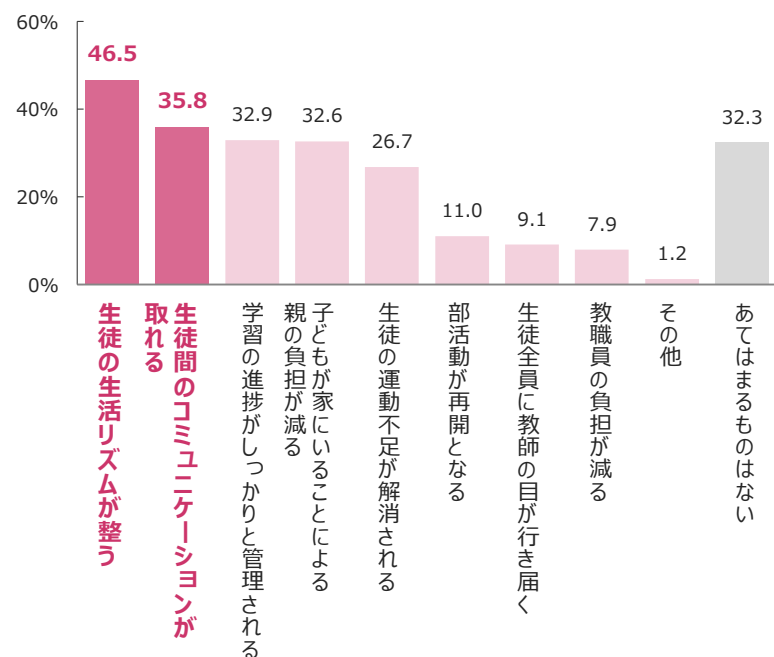
✓今後の小学校～大学の授業について、「小学生はオンライン授業中心でよいと思う」は1割程度、「大学生はオンライン授業中心でよいと思う」は3割程度。

高校生や大学生の授業と比べ、小学生の授業について「オンライン授業中心でよいと思う」と回答した人の割合は少ない。また、半数以上が「あてはまるものはない」と回答し、オンライン授業による教育に対して抵抗がある様子。〈図3〉

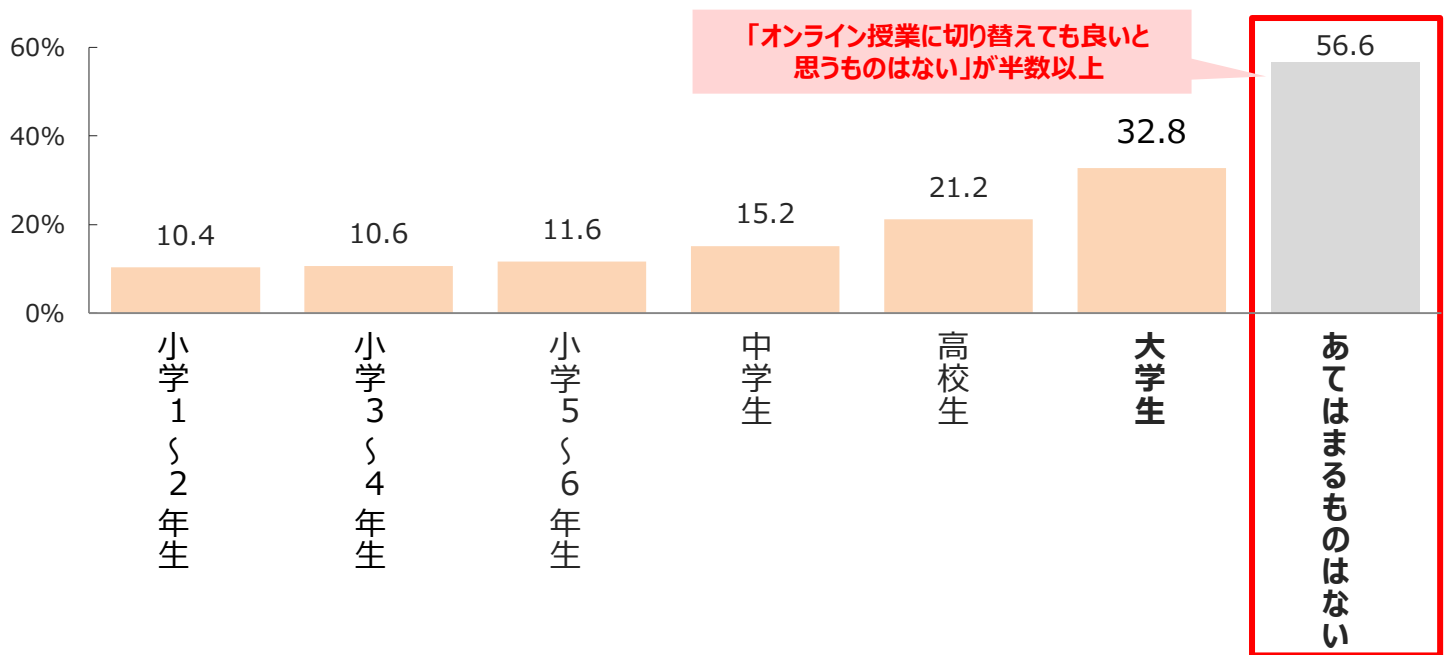
〈図1〉【小中高の学校が再開されて大変だと思うこと】
(n=1,100) ※複数回答



〈図2〉【小中高の学校が再開されてよかったと思うこと】
(n=1,100) ※複数回答



＜図3＞【今後はオンライン授業に切り替えても良いと思うもの】（n=1,100）※複数回答



■ 調査項目

- 属性設問
- 直近1週間の外出頻度
- 直近1週間で自分の「楽しみ」のために使った金額
- 昨今の状況下で「してもいい」と思うこと
- 小中高が再開されて良かったと思うこと
- 小中高が再開されて大変だと思うこと
- オンライン授業について

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20200812education/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2020年8月7日 (金) ～8月8日 (土)
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

＜例＞ 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」